

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学新聞会
責任者 土本順子

十二月号

議題 決定!!

後期学生大会

平成七年度後期学生大会の議題が決定された。内容は以下の通りである。

一、部室増設について
大学側では、増設に対して前向きだが、具体的な増設案を学生側が提示しないと事態が進展しない。
これまで学生自治会は大学側に増設案を提示してきたが、大学側の回答は条件的に難しいというものが多かった。しかし、大学側は調査の結果、増設の可能性があるとの意見も出てきた。
そこで、学生が部室棟を必要としていることを大学側に訴えたい。

二、新祭実行委員会について
平成八年度新祭実行委員会の目的及び方針、四月から五月にかけての行事予定、本部企画を担当
新入生歓迎キャンプ
新入生のためのガイドブック(サルバルサン)の発行
新入生のクラスオリエンテーション

各部門担当
学術部門担当行事
体育部門担当行事
文化部門担当行事

同好会担当行事

委員長 二一A阿部 和志
副委員長 二一B粟生 和樹
会計 二一E石川 美穂
二一G若島かほる
幹事長 一一C谷川 真悟
二二 平成八年度監査委員会委員長の承認

自治委員会に於いて、次の者を平成八年度監査委員長として推薦する
一一C 新堀 喜一郎

四、紙のリサイクルについて
現在、自治委員会室で実施中の紙のリサイクル運動の回収時間は以下の通りである。
月、火曜日
三時三十分から五時
水曜日
二時五十分から二時

木曜日
一時四十分から五時
金曜日
一時四十分から三時十分

この時間帯以外でも、委員会室の前の回収箱で回収を行っている。
一、回収の際の注意
一、紙の種類ごとに分別して
一、紙の重ねる回数
一、セロハンテープ、ガムテープ等は取り除いておくこと

一、感熱紙は回収の対象外

ある

五、会議室の使用について
会議室の使用規定の確認
平日は鍵の貸出は行わず、執行委員会が会議室の閉鎖をする。予約は執行委員会室にて行う。
土曜・日曜・祝日
土曜・日曜・祝日に会議室を使用する団体はまず執行委員会にて予約をし、学生部に部室棟使用願を提出する。また、使用前日(前)の昼休み以降に執行委員会室にて鍵を受け取る。

和室(第二会議室)
和室は、水曜日の午後と土曜日は茶道部優先とし、他の団体は原則として使用できない。
印刷室・第四会議室
印刷室は、原則として土曜日、祝日は使用できない。
第四会議室は学術部門で使用許可を得た後、執行委員会室または学術部門にて鍵の貸出を行う。

六、学部学生駐車場について
執行委員会では、次の基準により平成八年度駐車証の発行者を選定する。
一、身体に障害を持つ者を優

一、先ず
一、交通の便の特に悪い者
一、自動車利用と他の交通機関の利用による通学の時間差の大きい者を優先する
一、前年度悪質な違反などを行っていない者を優先する
一、四年生を優先しBコースの者よりAコースの者を優先する
一、虚偽申請をした者について交付後も交付の取消を行う
一、平成七年度交付、非交付は一切考慮にいけないこととする
申請については平成七年十二月中旬に公示を掲示し、交付申請受付を開始する予定である。

動物慰霊祭

毎年行われている動物慰霊祭が、十一月二十九日(水)に四三講義室で行われた。白衣寮の学生や院生の他、教授など多くの人が見守る中、献がに住職による読経が行われた。参加者たちが焼香をした。今回の慰霊祭には講義室の座席がほとんど埋まるほどの人が参加し、動物

製薬会社・病院見学

去る十一月十四日(火)から十六日(木)及び二十九日(水)の合計四日間、薬学部一年生の希望者対象に、病院、製薬会社、研究所の見学が行われた。この見学会は昨年から実施されているが、今年は見学先として病院と製薬会社に加え、新たに研究所が選択できるようになった。見学先では、その分野で実際に働いている方々の貴重な

美術部校外展

今年も美術部校外展が開催される。詳細は次の通り。
日時 十二月十五日(金) 十七日(日)
午前九時三十分、午後五時(十五日は午後二時) 交通 京王線北野駅北口下車
場所 ダイエー北野店七階 八王子市民センター 展示室

ペルソナ

「ペルソナ」ラテン語で仮面、そして人格を表わす言葉である。本書は猪瀬直樹による、作家としての仮面を構成する作品群からその人格にせまる三島由紀夫伝である。今年秋後五十一年であると同時に三島由紀夫が自決してから二十五年である。写真集や複製版の書物も次々と発行され、三島由紀夫ファンが行なっている書店も少なくない。今まで出版されてきた多くの三島評文は、彼の作品全体に漂う王朝的雅びの

「三島由紀夫の解説から始まり、巧みに三島の才能の基盤ともなるコンプレックスを描き写している。官能の血を受け継ぎながらも官僚機構から脱落してしま

世界を分析するため、その祖母夏子の家系に注目がおかれていた。しかしこの本においては祖父から受け継がれてきた官僚としての系図に重点をおくことにより、三島獨特の矛盾を解明する試みが行な

った三島、自らを作品中に投影し、自己回復のために書き続けなければならなかった三島、官僚機構とそこから生ずる偽善を説き市ヶ谷駐屯地での自決の方向を見た三島。そのような彼の

仮面を筆者は取材現場の状況も含めて過去と現在を交差させつつ淡々と語っています。三島の言葉は市ヶ谷駐屯地の自衛隊の人間には届かなかった。官僚接待が取り沙汰されたことも耳に新しい今、いまだ自分の言葉届かぬ無念さに歯ぎりする彼の姿が見えるようだ。

薬味

●休日の過ごし方として「飲み続けの一日」というのはどうだろうか。食事を中心に酒を分るると、食前、食中、食後酒となるが、もう一つ、一日のバターンで区分するとどうなるか。目覚めの酒、ラントの酒、星下りの酒、夕暮れの酒、夕食の酒、愛を語らう酒、そして眠りを誘う酒となる。これでは起きてある間、酒気がきれない。そんなバカな、とおっしゃることとは先刻承知である。ゆっくりと目覚めた休日などの朝食抜きの早めの昼食がブラッチである。そんな時に飲むのがブラッチェイマリ。ウォッカをベースにトマトジュースで割り、タバスコやウスターソース、塩などを加えたドリンクだ。甘味のない、塩味で、びりびりとした辛味が、胃腸に目覚めにちょうどいい。昼間にはドライマティーニのオンザロック、甘味のひとかけらもないカクテルで夕方に備える。夕食のときは料理に酒を合わせたい。私としては日本入らしめ辛口の日本酒、人肌をのめる煙ときめたい。眠りを誘にはフランドーがいい。もちろん国産フランドーなどというものは、ご遠慮申し上げよう。ここでは得がたい高級品のストレートの一杯でなければならぬ。これで、何事もなく終わった。飲み続けの一日の幕が閉じる。毎日とは決して言わない。だがせめて週に一度はほろほろと微酔を帯びて一日の大半を過ごすのも、平和な小市民にとって明日への活力を増し、ストレスを解消するための良法ではなからうか。言うまでもないだろうが、未成年の方は二十歳を過ぎてからにしてもらいたい。喫煙と同じく法律は守るべきである。(あんにゅ)

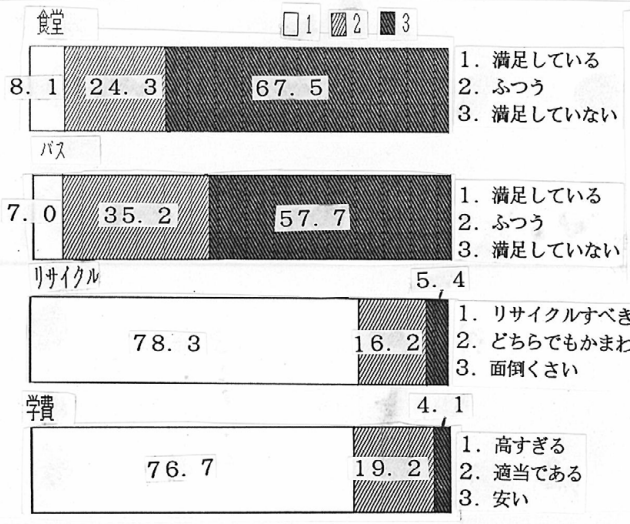
自治委員会アンケート

学生生活に満足していますか?

東薬祭中、自治委員会で学生生活に関するアンケート調査が行われた。おまかかな質問内容は以下の通りである。

- 一、今の食堂の状態に満足していますか?
 - 二、今のバスの状態に満足していますか?
 - 三、紙のリサイクルについてどう思いますか?
 - 四、学費についてどう思いますか?
 - 五、学生生活について、意見要望がありますか?
- 質問一について、不満と答えたい人の意見は主に「昼食時に混んでいて席がない」や「値段が高い」などだった。昨年度の生命科学部の新設に伴って、来年、再来年にも学生数が増えるので、今のままではさらに不満が増えることが予想される。解消策として、食堂を広くする、弁当を増やす、トイレの持ち出しを許可するなど意見が挙げられた。
- 質問二については、圧倒的に不満と答えている人が多く、その最大の理由は、バス(特に多摩バス)の本数が少ないというものだった。その他「始バスが遅い」「終バスが早い」「バスが混む」などの意見もあった。
- 質問三については、ミスコピ

アンケート結果



「参考になる意見も多くありました。このようなアンケートを取ることで、みなさんの学生生活に関する意識が少しでも高まれば幸いです」との意見もすぐに実現されるとは限らないだろう。しかし、いすれにしても、東薬をさらによくするために、より多くの学生の協力が必要だと感じた。今後の自治委員会の活動に期待したい。

「この紙だけでも回収ボックスを設置してはどうかという意見があった。リサイクルすべきたと思っている人が多く、リサイクルの協力な姿勢がうかがえる。このような事は、学校全体が一つにならなければ実行できないことなので、大変よい傾向ではないだろうか。」

問四については、人によって大きく意見が異なっていた。来年度生からの値上げについては、疑問に思う人が多く、値上げの理由についてあまり納得されていない。しかし、現在の学費については、「仕方がない」「高い」「ちょっとよい」など、「一概には言えない」ような意見もある。他にも、学費の内訳を教えてほしいという意見があった。

問五については、「イベンツを増やしてほしい」「駐車場を増やしてほしい」など、いろいろな意見があった。学生各自の望みはさまざまだろう。

今回のアンケート実施について、自治委員会議長の斎藤香代子さんは次のように話している。

新部門長挨拶

この度、各部門の執行交代により新部門長が決定した。これから一年間各部門を引っ張っていく彼らに、その意気込みを語って頂いた。(敬称略)

高橋嘉彦

これから一年間学術部門を運営していくにあたり、現在所属している八つのクラブが揃ってこの学術部門という事を念頭に置かなければならぬ。各クラブの活動内容を把握し、その活動の成果を発表する場として、従来行っていた学術発表会や東薬祭での展示会をさらに充実・発展させる。また、部門主催の各種行事を部門間の交流を深め大学の思い出を作る場として利用すると共に、大学生として常識のある行動を身に付けるようにしてもらいたい。

楽しい中にもけじめある部門「これを目標したい。」

高橋康弘

この度、平成八年度の執行を一年間とらせて頂く事になりました。自分は二十四団体の横のつながりが最も大事だと考えています。そのバイブレーション役として働き東薬をさらに盛り上げ、より活気あるものとしていく思いであります。全員が全員礼儀正しく節度ある行動をとれるべきであり、それが社会に出るための常識であると考えております。

各部落あつてこそこの体育部門であります。各部長等ならびに部員には今年一年新体育部門をよろしくお願ひ申し上げます。

新田英之

文化部門では、今まで他部門との交流の機会だけではなく、部門内のクラブ同士が交わることが、一月になってから年賀状を出した事も少なくなりました。この時期には是非ともやっておかなければ、と毎年思っている企画倒れに終わる事が一つある。それは年賀状を書く事だ。

年の瀬になればいろいろと雑用で忙しいという事や、暇のある今の内に書いておけば楽になる事は、例年の経験でわかってきているのだが、いざ実行に移そうとするとき、頭を悩ませる。明日やればいいやと日延べしているうちにクリスマスが過ぎてゆき、慌てて書き始めてはすなにか、何故かそううまくいかない。

「早く、早く」

や、実習のレポートが身近なものとして挙げられるだろう。毎日少しずつやるのではなく、テスト前であるのが提出日であるのが慌てる必要はないはずなのに、何故かそううまくいかない。

行事予定

- 十一月
 - 六日(水) 後期学生大会
 - 二十一日(木) 年内授業終了
- 十二月
 - 二十五日(月) 冬期休暇開始
 - 一月
 - 六日(土) 冬期休暇終了
 - 八日(月) 授業再開
 - 十九日(金) 授業終了
 - 二十四日(水) 授業終了
 - 三十一日(水) 後期試験
 - 一月
 - 一日(木) 後期試験

津田雄一郎

この度、同好会会長という大役を務めさせて頂く事になりました。アスレチック研究会所属の津田雄一郎です。

今年は、馬道同好会という新しい団体が加わった事により、同好会全体としては八団体となりました。ですから、今まで以上に雰囲気良く、悪いところを修正、改善して活気ある同好会を作りたい心がけたいと思います。

皆様暖かいご支援・ご声援の程、よろしくお願ひいたします。

またまた驚りもせず風邪をひいてしまった。この一年を振り返ってみると、二回に一回の割合で、このコメント欄は風邪ネタとなっている。風邪が流行すると必ずかかるのは私の体質のせいだろうか。それとも生活態度が乱れているせいだろうか。

●虹はいいですね。虹を見ると心が和みますね。レインボースプラッシュがでたんっすよ……。(関神カイン)

◎ふうっ。(あんのん)

●ほう。(あんころ餅)

●へ。(〇)

●ひひひひひ。(ちよき)

●頭痛。(甲)

●お久しぶりです。あの二人をやつとまいたダス。ローはっ兄貴めっけ。兄貴好きしゃー! 兄貴一緒にCD聞きやしよう。うふ。(タツ子)

●むかしむかし、或るころにおじいさんとおばあさんが住んでいました。(品蓮親)

●トリノであったもにゃもにゃが欲しい(ほの)

●永遠に咲かぬ花を持つ私ウフッ字足らず。(Azer)

●パーチャファイター2を買ったの。幸せ(柚木サラ)